

2006.7

三多摩山スキークラブ 会報

7月号 160



2006年7月10日 発行

三多摩山スキークラブ

会長 川上 邦夫

〒180-0013 武蔵野市西久保 3-25-7-303

Tel& Fax 042-253-7289

<http://www.asahi-net.or.jp/~xi7m-ootk/backnumber.htm>

2006/4/27 ~ 5/9
ヨーロッパ・アルプスオートルート
(シャモニ ツェルマット)

写真：陶山 正



目次

ヨーロッパ・アルプス／オートルート	2
目次	3
今月の表紙	3
インフォメーション	4
例会、運営委員会、リーダー会、スキー協行事等	
行事報告	
立山・滑り納め 報告書	5
個人山行等	
立山スキー	7
近況報告	8
総会報告	10
編集後記	12
行事案内／申込書	
今月はありません	

今月の表紙

今年の雷鳥沢は雪がやはり多い。そのため、上部急斜面のトラバースは比較的楽であった。

剣沢も多く、「途中の島」もいつもは大きく滑降を阻んでいるが今年は、雪に覆われて、

小さかった。登り返しを考えて2420m地点でストップ。

雷鳥沢は下から見て右側の大斜面、滑降を楽しんで、雷鳥荘に帰着。

詳細は、山スキー報告(5頁)を

インフォメーション

例会			
-----------	--	--	--

8月例会（休会です）

日時 ×月××日（水） 午後×時××分～

場所 国分寺労政会館（042-323-8511）

9月	13日		午後19時30分～	国分寺労政会館(042-323-8511)	
10月	11日		午後19時30分～	国分寺労政会館(042-323-8511)	
運営委員会					
8月	28日	(水)	午後19時30分～	国分寺労政会館(042-323-8511)	
9月	未定				
リーダー会議					

三多摩行事等予定				担当

その他 スキー協関係				問合せ先
7月	13日		理事会	東京スキー協
7月	27日		山スキー委員会	スキー協事務所 東京スキー協
9月	2日～3日		山スキー部会	長野県乗鞍高原 全国スキー協
9月	10日		スキーセミナー	中野勤労福祉会館 東京スキー協
9月	30日～10/1		テニス交流会	山中湖 東京スキー協
10月	29日		クラブ交流平和駅伝	東京スキー協

立山・滑り納め 報告書

記入者 大川 淳

日 程 06年6月2日(金)～4日(日) 2泊3日

参加者(6名) L大川、S L伊達、記録中川、会計横山、近藤知、斉藤

宿 泊 雷鳥荘 (0764-65-5777)

コースタイム(中川)

6 / 2 (金) 晴、山崎カール

昼食、雷鳥荘発 11:00 シール登行 11:25 山崎カール・ローソク岩(2855m) 地点 14:00 滑降 14:40 雷鳥荘下 15:00 雷鳥荘着 15:30

6 / 3 (土) 晴 雷鳥沢、剣沢

雷鳥荘発 8:00 シール登行 8:20 乗越直下(2740m) 10:30、シール外す 剣御前小屋着 10:50 剣

沢滑降開始 11:00 剣沢 2420m付近着 11:15 (昼食)

登り返し 11:50 剣御前小屋着 14:00 (休憩) 雷鳥沢滑降開始 14:30

雷鳥荘下 15:05 雷鳥荘着 15:35



山崎カールローソク岩にて



剣沢滑降



6 / 4 (日) 晴 御山谷
 雷鳥荘 8:00 シール登行 8:25
 一の越山荘着 10:00 御山谷
 滑降 10:20
 2400m付近着 10:30 登り返し
 10:40 一の越山荘着 11:40
 室堂着 12:30

経過

6 / 2 (金)
 雷鳥荘で早い昼食、雷鳥荘を下り、シール登行、一路山崎カールを登る。
 ここも雪は多い感じ。昨年に比べて雪上の石が多い。
 ローソク岩で写真を撮り滑降へ。

6 / 3 (土)

今年の雷鳥沢は雪がやはり多い。そのため、上部急斜面のトラバースは比較的楽であった。剣沢も多く、「途中の島」もいつもは大きく滑降を阻んでいるが今年は、雪に覆われて、小さかった。登り返しを考えて2420m地点でストップ。
 雷鳥沢は下から見て右側の大斜面、滑降を楽しんで、雷鳥荘に帰着。

6 / 4 (日)

一の越付近や御山谷は今年は雪がそれほど多くない感じ。

登り返しがキツイということで、1時間程度の2400m付近まで滑降して戻る。



総括

最終日のコースは御山谷滑降とその登り返しにした。タンボ平は今年の雪や参加者の状況により、万が一の場合、大ごとになると考えました。

平日を設定したが、一名一日早く参加しただけで、まだ時期尚早？の感です。

雷鳥荘の新しくなった温泉は、展望風呂ということで、大きくゆったりしていて、落日を風呂に入ったまま眺められるのがいい。」



雷鳥荘展望風呂

立山スキー

6月3日から5日まで、立山で今シーズン滑り納めをした。メンバーは弟と八甲田も同行した今井君。丁度、三多摩山スキークラブの大川さんのパーティーと相前後して雷鳥荘に宿泊。

今年の立山は雪が多い

雷鳥荘に問い合わせたら、今年は多いのでどこでも滑ることが出来ます、との返事だったが、なるほど例年に較べかなり多い。室堂ターミナル手前の雪の大谷の壁でバスの高さで較べるとわかる。初日、真砂岳に登ったが、北側の沢には大きな雪庇が張り出し、尾根上には無数のクレバスが刻まれている。雪質も堅めのザラメですべりやすかった。この雪で、剣山荘は今年度休業、剣沢小屋も当分休業とのこと。

眺めよし、湯よし、雷鳥荘の温泉

去年は工事中だった、雷鳥荘の温泉が出来た。湯船から大日岳が見え、酸性の湯もなかなか良い。雷鳥荘に泊まる楽しみが増えた。

なぜか消耗

初日の真砂岳も EL2750m 付近にスキーをデポして真砂岳 (EL2850m)に登ったがすごく消耗、雷鳥沢から雷鳥荘までの登り返しもきつかった。2日目も雷鳥沢の登りはなんとかもったが、剣沢は剣沢小屋の少ししたで登り返したもののきつく、雷鳥沢の快適な降り



雪の大谷



真砂岳山頂から別山方向



雷鳥沢

もエネルギーが残っていないという感じ。5月の鳥海山は何ともなかったのになぜか。来シーズンまでに体調を整え、トレーニングをして備える必要あり。

快適に乗れた Volkle Snow wolf

昨年新調した山スキー板、フォルクル・スノーウルフはなかなか快適な板だった。北陸の重めの新雪・深雪、鍋倉のような悪雪から春スキーのザラメまでなんとかこなすことが出来た。雷鳥荘のフロントにいるアルペンスキーのコーチとかゆう人がその板はオールラウンドで良い板ですねと言ってくれた。ただセットで求めた、シールは粘着力がいま

いちで春山では一日の行程で3回脱着すると、3回目の登りでシールが濡れてきて、糊がきかなくなりはずれることがあった。

よく滑った 2005 - 2006 年シーズン

北陸は記録的な豪雪で、被害も大きかったが、反面、12月からスキーが出来た。白山市内7箇所を含む8スキー場共通シーズン券を利用し近郊スキー場に3月下旬までのべ22日通うことが出来た。三多摩の行事も、妙高、野沢温泉・鍋倉、八甲田と参加できたし、鳥海 - 八甲田、立山の春スキーも出来た。来シーズンも楽しく滑ることが出来ればと思う。

川崎 敏

近況報告

吉原露子

5/21 丹沢桧洞丸

シロヤシオには早過ぎ、全国的に快晴だったのに丹沢はガスの中でした。

5/24～5/26 蓮華温泉と朝日岳

朝日岳直下の急斜面を滑るには時期的に遅すぎた。赤男山の鞍部から滑降。

笹木祐司

6/10 大菩薩峠

自転車で柳沢峠～丸川峠～大菩薩峠～丹波村とツーリングしてきた。大菩薩峠から丹波村までの山道は乗車率もよく楽しめた。

中川幸子

6/2～6/4 立山山スキー

前二日間は晴天で雪も多くて楽しく登り、楽しく滑降できた。最後のルートについて、タンボ平を滑れたのが嬉しかった。

陶山 正

4/27～5/9 ヨーロッパ・アルプスオートルート(シヤモニ ツェルマット)

労山都連、山スキー学校のメンバート 9 名とオートルートをめざし 13 日間かけて行きました。山行中(前半)は天気良く、眺めは素晴らしかったです。報告は後で出します。モンブラン、グランドジョラス、ブライツホルン、有名所の側を滑るのはさすがと思わせてくれます。

6/4 浅間山(府中)

労山クリーンハイク。70mの浅間山に行きました。89.1kg、10名の参加でわいわいと、摩墓地の側にゴミが多かった。

斉藤シゲ子

5/13 御岳山

白ヤシオツツジは、今年は全く咲かず。

5/21 夕倉山

青梅の山(小曾木)。鹿に出会う。

5/23 九重山

奥多摩、踏み跡がなく赤テープをたよりに歩く。頂上はワラビ林。

5/29 御岳山、上高岩山

地域の人を案内。

6/1～6/3 立山スキー



山崎カール、天気にも恵まれ気持ちよくのぼり、すべる。快調！

6/4 高尾山

日影沢コース。労山クリーンハイク。小さいゴミはだいぶ少ないが、大きなゴミ多し。

近藤知子

5/15 神楽峰・中尾根

5/21 三頭山

6/2～6/4 立山

雄大な雪景色の中を滑り、感激！

二階堂耕司

4/22～4/23 平標・神楽峰

クラブ行事、会報で報告済

5/3～5/5 飛騨沢

クラブ行事。体力は大分快復したと思ってたがやっぱり足んねえか。報告は会報。

5/14 鳩ノ巣

所属会行事、近辺のハイク。なかなかあなどれない。

5/20 扇山・百蔵山

登山学校同期会山行、好天に恵まれました。

5/21 石割山

昔の職場の仲間と。山中湖近くの山。何百段かの石段は結構きびしい。

5/24 笠取山

近所の仲間と。雨続きの中、山行中は好天に恵まれ、下山したとたんにシャワー。

6/5 湯の沢峠

山菜取り。ウド少し、タラの芽はなし。

6/13 湯の山峠（湯の沢峠？）

1週おいて再挑戦。ウドをどっさり。どこで採ったかは教えない。

荒木正司

6/10～6/11 奥多摩・西谷山～雲取山

西谷山避難小屋泊。長沢背稜のシャクナゲには遅くほとんど散っていた。山ツツジ、イワカガミがきれいだ。ツクバネソウ、ギンリョウソウ散見。11日は予想に反して一日中雨。

樋口浩子

5月に入ってからどこにも遊びに行けてません。う　淋しいです

長部保雄

特になし

7月9日、総会開催

会長に、川上邦夫氏再任

運営委員に、齊藤氏、笹木氏（新任）、荒木氏（以下、再任）、高
畠氏、吉原氏、長部氏 6 名。会計監査に町田氏を選出

7月9日（午後1時から5時）国分寺労政会館で、今期活動の総括と来シーズンへの活動方針を決める総会が、会員26名出席のもと開催された。冒頭、司会に陶山氏、二階堂氏、書記に横山氏、石川氏を選出し開催された。

総会の開催にあたり、川上会長の挨拶、東京スキー協から小川洋理事長の挨拶を受け、その後、06年シーズンの総括、07シーズンの方針について各専門部



担当の運営委員会から提案があり、活発な議論が交わされた。討論の後、総会提案は承認された。つづいて役員選出が行われた。会長に川上邦夫氏、運営委員として齊藤、笹木氏、の高畠氏、吉原氏、荒木氏、長部氏を運営委員とすることに満場一致で承認され、午後5時、総会は終了した。その後、国分寺駅前の居酒屋（多古屋）で懇親会が持たれ9時前に散会した。

総会の議事概要は、次ページに掲載しました。

三多摩山スキークラブ会費納入のお願い

会計

総会で納入できなかった方へ
会費(6000円(会友:3千円))です。

下記口座に振り込んでください。

三多摩山スキークラブの通常郵便貯金口座

口座名「サンタマヤマススキークラブ」

「通常郵便貯金」の口座記号・番号「10190 77805631」

ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

三多摩山スキークラブ総会 議事録

開催日時 2006年7月9日 13:00~17:00

開催場所 国分寺労政会館

出席者 荒木 石川 井上 大川 長部 勝亦 川上 近藤（修） 近藤（知） 斉藤 坂井 笹木
柴田 杉山 陶山 高畠 中川 二階堂 樋口（仁） 樋口（浩） 堀内 町田 八木橋
横山 吉原

議事

1. 開会の辞：運営委員会 荒木 司会：陶山 二階堂 書記：横山 石川

2. 会長挨拶：川上

今シーズンは足の不調からゲレンデのみとし、山スキーは行かなかった。山スキーでの事故が多かった中、当クラブでは一つの事故も無くシーズンを終了出来、良かった。会の運営には、まだまだ課題がある。リーダー制についても色々見直ししながら行事を進めたい。指導員の活動に関しても考える。

3. 来賓の挨拶：東京スキー協理事長 小川 洋氏

スキー協の会員が増え、現在820名である。新クラブも2つ誕生した。海外のスキー大会にも選手を派遣し、国際交流も行われている。また妙高前山で事故のあったランドネにも触れ、その原因究明の姿勢を評価されていた。

4. 今期活動報告

(a) 事務局 報告書通り

(b) 会報 報告書通り

(c) 例会 報告書通り 講義のある時は参加者が多く、会員もこの様な勉強会を希望していると思われる。

(d) リーダー会 報告書通り

(e) 行事 報告書通り 行事参加人数は123名。ゲレンデ講習が少なかった。

(f) 会計 報告書通り

新入会員紹介 近藤 知子さん

（今シーズンは、ゲレンデ、会のスキー山行、その他のスキー山行等、27日滑っている。）

5. 収支決算報告 別紙報告書通り

6. 会計監査報告 別紙報告書通り

町田氏により、厳正に監査が行われ、会員に承認されました。

7. 前半の最後に質疑応答があり、今後の提案、参考としたい。

- ・ 野沢の時には、バスを貸し切るのも良いのではないか。
- ・ バスの場合、他のクラブによびかけては？（マイカーの方が便利という意見も）
- ・ スキー場の宿で、ワンポイントレッスン等は？
- ・ 内規には、色々あり、新人にはお知らせすべきものだ。（慶弔費、直前のキャンセル料、テントの事等）

07シーズンに向けての質疑内容は次号へ

雑記帳

先月号で、来月にこの反動が...、と記事が大幅に減ることを危惧しましたが、あまり多いのも読む(見る)方にも、しかし今月号総会もあって発行が遅れました。お詫びします。

しかし、来月号は？ 来シーズンの豊富を、総会で皆さんに報告されているものを整理しなければ。

総会でも報告しましたが、スキー協の山スキー入門教室、昨年は、中止も多く、参加人数も前年の半分近くに、山スキーの底辺

拡大に相当力を尽くし、そこから、いずれかのクラブに参加してという方が多いはず。

スキー協の役割とは何かという議論もありましたが、メリットというのは会員だと安く買えるからとか、物理的なものだけではないでしょう。

納めの立山たんぼ平への滑降について予定を取り止めたと報告されているが、この件で一部議論があるようです。6月例会ではリーダー論が議論されたが、メンバーシップについても議論してみる必要があるのではないのでしょうか。

総会が開催され活発な議論がされた、来シーズン、どこへ行くか、のんびりと考えよう

三多摩山スキークラブ会報 (2006.7 160)

発行 川上邦夫

編集 長部保雄

ホームページ編集 大槻 真人

<http://www.asahi-net.or.jp/~xi7m-ootk/backnumber.htm>

発行連絡先

180-0013

武蔵野市西久保 3-25-7-303

Tel/Fax 042-253-7289

2006.7.10 発行